

1. 科目名 (単位数)	精神科リハビリテーション学 (4 単位)	3. 科目番号	SCMP2125
2. 授業担当教員	大島 一成		
4. 授業形態	講義、グループ発表および全体討論	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	精神保健福祉士が行う精神科リハビリテーション業務の基本的知識を身につける。すでに学んだ精神医学の復習、これから学ぶ精神保健福祉論の予習にもなる。一般目標「障害者の全人間的復権」に、精神障害ならではの独自性を加えていく。その際の基本原則、プロセスはもとより、さまざまな技術や方法についても学ぶ。生活技能訓練については、特定のシナリオを用いてシミュレーション・トレーニングを行う。総じて、他職種と連携しながら国家資格としての専門性が発揮できる素地を造り上げる。また、総合支援法や医療観察法など、関連する新しい法律についても学習を促す。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神科リハビリテーションの概念、原則、対象、諸相について理解する。 2. 実際のプロセスを精神障害の時間的発展、精神医療の空間的拡大に即して理解する。 3. 精神障害のストレス脆弱性-対処技能モデルについて理解する。 4. 生活技能訓練 (SST) ははじめ、さまざまなリハビリテーション技術について理解する。 5. 精神障害者ケアマネジメントの歴史、理念、類型、技法について理解する。 6. 旧精神保健福祉法の福祉的サービスから総合支援法新体系サービスへの移行について理解する。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	毎回の出席票を、月ごとにまとめて提出していただきます。 講義の中で一部時間をとって、各人の発表 (コメントで内容を補う) を行ってもらいます。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 精神保健福祉士養成セミナー5 (第6版) 『精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ—精神保健福祉におけるリハビリテーション』へるす出版。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 【参考書】 最新・精神保健福祉士養成講座3『精神障害者リハビリテーション論』中央法規 (2021年発刊) 『精神疾患とその治療 第2版』新・精神保健福祉士養成講座1 中央法規出版。 【教材】 エイメンソン (松島義博、荒井良直訳)『精神分裂病の家族心理教育カリキュラム』(パワーポイント教材)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神科リハビリテーションの基礎的、基本的事項を理解し、多肢選択問題に十分に対応できるか。 2. 記述問題に対応できるだけのロジカルな思考能力をどれだけ身につけているか。 ○評定の方法 <ol style="list-style-type: none"> 1 ミニテスト、課題レポート 総合点の50% 2 授業への積極的参加 総合点の50% 		
12. 受講生へのメッセージ	精神科リハビリテーションでは、精神保健福祉士として多職種チームを動かしていかなければなりません。チームを動かすには、精神科リハビリテーションの知識に裏づけられた情熱、プレゼンテーションのスキル、表現して人を納得させる技術が必要です。普段の学生生活・日常生活において、そのことを意識してしてください。授業後半では、家族教育「家族のための精神分裂病入門」のプレゼンテーションを、各自分担して行っていただく予定です。		
13. オフィスアワー	講義の前後の時間		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	「シラバスの説明、オリエンテーション、リハビリテーションの概念と歴史、わが国の精神科リハビリテーションの現状」 国際生活機能分類 (ICF)、リハビリテーションの分類	事前学習	教科書 pp. 1~8 を読んでくる。
		事後学習	配布プリントの復習。リハビリテーションを草創期、確立期、発展期に分けて整理する。
第2回	「リハビリテーションの理念と原則」 全人間的復権、ADL から QOL へ、多様な職種の連帯、ノーマライゼーション、身体障害者リハビリテーションと精神科リハビリテーションの共通点と相違点	事前学習	ノーマライゼーション、ICF について調べる。
		事後学習	スライド配布資料を見ながら、自分でスライドの内容が説明できるか点検する。
第3回	「精神科リハビリテーションの概念」 病院内リハビリテーション、脱施設化と地域リハビリテーションへの移行。精神科リハビリテーションの定義。(精神保健学の理解が十分でない場合には「精神障害をもつ人への支援」について復習の予定)	事前学習	教科書 pp. 9~14 を読んでくる。
		事後学習	WHO 勧告と行動指針、日本の精神科医療の現状と課題について理解を深める。
第4回	「精神科リハビリテーションの理念と意義」 セルフヘルプ活動、エンパワメント、リカバリー。(統合失調症について理解が足りない場合には「統合失調症の症状、経過、治療の原則」について復習の予定)	事前学習	教科書 pp. 15~16 を読んでくる。
		事後学習	エンパワメント、リカバリーの用語を自分の言葉で説明できるか点検する。
第5回	「精神科リハビリテーションの基本原則」 包括的アプローチ、本人参加や自己決定権の尊重、成功体験の活用、	事前学習	教科書 pp. 17~20 を読んでくる。
		事後学習	配布プリントの復習。

	再発予防、個別性の重視、リハビリへの希望、健全な依存（日本の精神保健福祉の歴史について理解が足りない場合には「精神障害をもつ人々への理解」について復習の予定）		
第6回	「精神科リハビリテーションの基本原則」 アンソニー、スレッシュホルズ・プログラム、中川正俊の基本原則について 「精神保健福祉士の役割」 「精神障害の特性とICF」	事前学習	精神科リハビリテーションの基本原則について自分の言葉で説明してみる。
		事後学習	配布プリントの復習。
第7回	「精神科リハビリテーションの基本アプローチ」 医学的・職業的・教育的・社会的・地域リハビリテーション、リハビリアプローチ	事前学習	教科書 pp. 32～38 を読んでくる。
		事後学習	配布プリントの復習。
第8回	「精神科リハビリテーションサービスの実施機関・施設と関連事業（その1：グループワーク）」 障害者総合支援法（旧・障害者自立支援法）に基づく障害者福祉サービス等の概要について、13程度のグループに分かれてグループ別に記載する。	事前学習	教科書 pp. 39～73 を読んでくる。
		事後学習	配布プリントの復習。 グループ発表の準備。
第9回	「精神科リハビリテーションサービスの実施機関・施設と関連事業（その2：発表）」 障害者総合支援法（旧・障害者自立支援法）に基づく障害者福祉サービス等の概要について、グループ別に発表する。	事前学習	第8回の配布プリントを読んでくる。
		事後学習	他のグループが発表したことを、配布プリントを見ながら確認する。
第10回	「精神科リハビリテーションの応用」 高次脳機能障害のリハビリテーションについて学習する。エンパワメント、リハビリ概念について復習する。	事前学習	高次脳機能障害について調べてくる。
		事後学習	配布プリントの復習。
第11回	「精神科リハビリテーションのプロセス」（1）アセスメント、（2）計画、（3）実施、（4）評価	事前学習	教科書 pp. 75～86 を読んでくる。
		事後学習	配布する BPRS、PANSS、LAMI 等の項目と評価基準をみて、それぞれの尺度の特徴を考えてみる。
第12回	「精神科リハビリテーションの展開（その1：グループワーク）」（1）精神科病院におけるリハビリテーション、（2）社会復帰施設におけるリハビリテーション、（3）社会資源における・地域社会におけるリハビリテーション、について、12程度のグループに分かれてグループ別に記載する。	事前学習	教科書 pp. 86～107 を読んでくる。
		事後学習	配布プリントの復習。 グループ発表の準備。
第13回	「精神科リハビリテーションの展開（その2：発表）」（1）精神科病院におけるリハビリテーション、（2）社会復帰施設におけるリハビリテーション、（3）社会資源における・地域社会におけるリハビリテーション、について、グループ別に発表する。	事前学習	第12回の配布プリントを読んでくる。
		事後学習	他のグループが発表したことを、配布プリントを見ながら確認する。
第14回	「地域精神保健の実際 コミュニティワーク」 「アプローチの方法（続き）、疾病の経過、ライフサイクルと精神科リハビリテーション」 ライフサイクル、疾病の側面から、生活の側面から、年代ごとに（20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代）	事前学習	教科書 pp. 89～90、pp108～114 を読んでくる。
		事後学習	配布プリントの復習。
第15回	「作業療法」 作業療法の意義と治療構造、計画とプログラム、回復状態に応じた作業療法の目標、作業活動の具体的内容、作業療法士の役割	事前学習	教科書「作業療法」の章を読んでくる。
		事後学習	配布プリントの復習。
第16回	「集団精神療法」「認知行動療法（生活技能訓練 SST）」精神科リハビリテーションにおける生活技能訓練の意義、生活技能訓練の実際、グループで行なうことの意義、ソーシャルワークと生活技能訓練	事前学習	教科書「集団精神療法」の章を読んでくる。
		事後学習	配布プリントの復習。
第17回	第1～16回、これまでのまとめ	事前学習	第1～16回の配布プリントを確認する。
		事後学習	第1～16回の内容を自分の言葉で説明してみる。
第18回	「集団精神療法（グループワークを含む）、レクリエーション療法」 集団精神療法のリハビリテーションに対する効果、集団精神療法の目的と構造設定の重要性、治療共同体、薬物乱用防止対策、依存症者の自助グループ活動について 「行動療法」	事前学習	教科書「集団精神療法」「レクリエーション療法」「行動療法」の章を読んでくる。
		事後学習	配布プリントの復習。身近なグループ活動の意義と効果について考えてみる。
第19回	「チームアプローチ」について ACT の例をもとに学習する チームアプローチ、アウトリーチ、ケアマネジメント、ストレングスモデル）について学習する	事前学習	教科書にて、チームアプローチ、アウトリーチ、ケアマネジメント、ストレングスモデルについて説明しているページをさがす。
		事後学習	配布プリントの復習。
第20回	「家族教育プログラム」心理教育とは、精神障害と家族、感情表出（EE）の測定と尺度、家族教育プログラムに求められるもの	事前学習	教科書「家族教育プログラム」の章を読んでくる。
		事後学習	配布した家族教育資料を次々回 22 回目にグループ順に発表する準備をする。

第21回	「最近の精神科リハビリテーションの話題」 新たな医療計画における5疾病5事業の一つとしての精神疾患、認知症関連事項	事前学習	精神保健学、精神疾患とその治療・精神医学のテキストを復習する。
		事後学習	配布プリントの復習。
第22回	「退院プログラム、精神科訪問看護、地域移行支援」 「家族教育プログラム」心理教育（原因と経過）についてグループ順に発表	事前学習	教科書「退院プログラム」「精神科訪問看護」の章を読んでくる。
		事後学習	他のグループが発表したことを、配布プリントを見ながら確認する。
第23回	「精神科リハビリテーションサービス」 デイケアおよびナイトケアの実際	事前学習	教科書「精神科リハビリテーションサービス」の章を読んでくる。
		事後学習	配布プリントの復習。
第24回	「居住支援」 「家族教育プログラム」心理教育（治療）についてグループ順に発表	事前学習	教科書「居住支援」の章を読んでくる。
		事後学習	他のグループが発表したことを、配布プリントを見ながら確認する。
第25回	「地域生活支援と居宅支援」 地域生活支援センターの活動・役割・機能、地域生活支援センター・居宅生活支援事業と精神保健福祉士の役割 「就労支援」就労の意義と援助活動、障害者雇用率制度、職業リハビリテーションの実施体制、さまざまな就労支援の施策と今後の課題	事前学習	教科書「地域生活支援と居宅支援」「就労支援」の章を読んでくる。
		事後学習	配布プリントの復習。
第26回	「地域を基盤にしたリハビリテーション」 「ケアマネジメント」 「アウトリーチサービス」	事前学習	教科書「地域を基盤にしたリハビリテーション」の章を読んでくる。
		事後学習	配布プリントの復習。
第27回	第1～26回、これまでのまとめ	事前学習	第18～26回の配布プリントを確認する。
		事後学習	第18～26回の内容を自分の言葉で説明してみる。
第28回	「仲間による地域生活支援」セルフヘルプ・グループとピアサポート、プロシューマー （当事者活動の歩み、当事者活動と精神保健福祉士の役割）ボランティアの育成と活用 「精神保健福祉白書2019/2020年版より最近の精神科リハビリテーションのトピック	事前学習	教科書「仲間による地域生活支援」セルフヘルプ・グループとピアサポート、プロシューマーの章を読んでくる。
		事後学習	配布プリントの復習。
第29回	「世界の精神科医療サービス」 「東京都の精神保健医療福祉とリハビリテーション」	事前学習	インターネットで、自分の住んでいる地域の精神保健センター、精神医療センターの情報、広報活動を調べてみる。
		事後学習	配布プリントの復習。
第30回	精神科リハビリテーションのこれから（まとめ）	事前学習	今までの配布プリントに目を通してくる。
		事後学習	自分の言葉で精神科リハビリテーションの概念、構成について説明してみる。